

第1学年 道徳科学習指導案

1 主題名 たのしいがっこう（資料名「めだかのめぐ」）

2 主題について

(1) この主題の中心価値C「よりよい学校生活、集団生活の充実」は、第1学年及び第2学年では、「先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること」をねらいとしている。みんなが助け合うと楽しい学校生活を送ることができることが分かり、自分もみんなのためにできることを頑張ってみようとする態度を養うことをねらい本主題を設定した。本教材は、1年生にとって主人公を身近に感じることができ、主人公の行動や心情を共感的に考えることができる。充実した学校生活を送ることについて自分事として捉え、自分にできることについて具体的に考えることに適した教材である。

(2) 本学級の本主題に関わる児童の実態は以下の通りである。

質問内容	回答
1. 友だちに何かしてあげたことがある。	ある 30人 ない 5人 ・片付けを手伝った。 ・転んだとき大丈夫と言ってあげた。
2. 友だちにされてうれしかったことがある。	ある 30人 ない 5人 ・遊びに誘ってくれた。
3. クラスのみんなのためにしていることはありますか？	ある 20人 ない 15人 ・係の仕事 ・そうじ

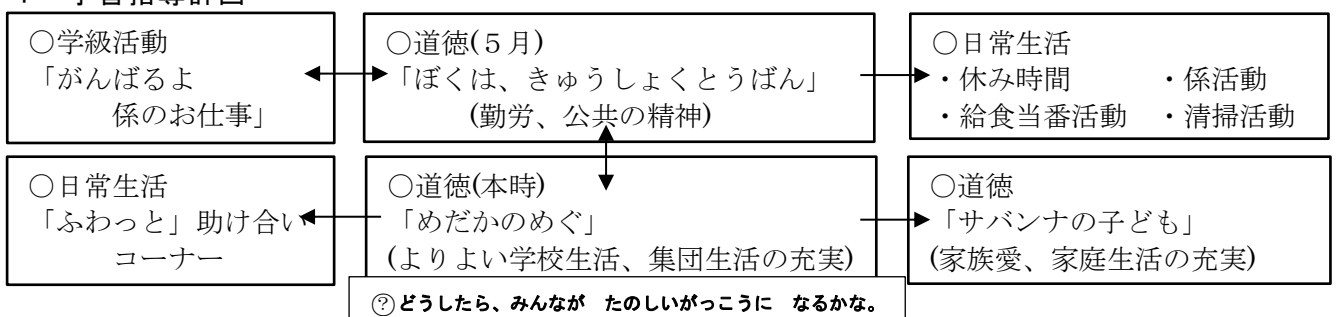
上記の結果から、進んで友だちを助けたり、助けてもらったりした経験のある児童が多い。また、みんなのために進んで行動できる児童も20名いる。しかし、友だちの困り感や助けてもらっていることに気付いていない児童も数名いる。そこで、多くの児童が自然に行っている助け合いによって、学校生活が楽しいものになることへの理解を深め、さらに助け合いを広めていこうという意欲を学級全体で高めていく必要がある。

(3) 本時では、事前アンケートを基に、導入において友だちにされてうれしかったことを紹介した上で、教材文を用いて助け合いについて考えさせ、道徳的価値に迫りたい。その際、めぐのクラスのみんなが相互に助け合っていることを板書に構造的に示し、理解の助けとしたい。話し合う場面では、多面的・多角的、または自分事として考えることができるよう、「〇〇さんの気持ちになってかんがえると・・・」「わたしだったら・・・」等の発表話型を提示する。振り返りの場面では、実際に児童がみんなのためにしていることを写真を交えて紹介することで、自分たちの助け合いの行為の価値を共有できるようにしたい。日常の場面をたくさん紹介することで「こんな小さなことでもみんなの役に立っている」ということに気付かせ、自分にもできそうと感じ、「みんなのために（ ）したい。」と記述できるようにしたい。振り返りを交流した後、教材文の「ふわっと」という言葉を用い、「ふわっと」ハートマークを塗らせる。そうすることで字がまだたくさん書けない1年生も、助け合いによって心が温かくなったことを可視化できると考える。更に日常生活においても助け合いが広がるように、「ふわっと」助け合いコーナーを作り、帰りの会で助け合いの行為を紹介し合い、掲示していきたい。

3 主題のねらい「よりよい学校生活、集団生活の充実」

みんなが助け合うと楽しい学校生活を送ることができることが分かり、自分もみんなのためにできることを頑張ってみようとする態度を養う。

4 学習指導計画



5 本時の学習指導案

(1) 目 標

- 主人公の気持ちや行動の理由について話し合うことで、みんなが助け合うと楽しい学校生活を送ることができることが分かり、自分もみんなのためにできることを頑張ろうとする態度を養う。

(2) 学習指導過程

	学 習 活 動	予想される児童の反応	教師の支援活動・評価
気付く 考える・伝える 高め 生かす	1 本時の学習課題をもつ。	上手に返事ができるか不安だった。 6年生に親切にされてうれしかった。 小学生になれてうれしかった。	- 入学当初の写真を提示し、不安な気持ちや6年生に親切にされて安心したこと等を想起させる。 - 友だちが声をかけてくれてうれしかった経験を紹介することで、問いに対する見通しをもてるようにする。 - けがのため泳げず不安な気持ちを抱えていることを丁寧に押さえ、導入の自分の気持ちと比べさせることで、めぐの気持ちを想像しやすくする。 - めぐが黒板消しをきれいにした理由を問うことで、みんなのために行動することの心地よさに気付かせる。 「〇〇の気持ちになって考えると…」などの話型を提示し、多面的・多角的に考えられるようにする。 「ふわっと」ハートマークを板書にたくさん提示することで、心が温かくなった様子を可視化し、まとめに繋ぐ。 - 自分だったらみんなのためにどんなことができそうかな。 - みんなのためにできることを頑張ろうという気持ちをもつことができる。(記述・行動観察) - 学校生活の具体的な場面を提示し、できそうなことを選ぶことができるようにする。 - みんなのために頑張った時の心地よさを、心が「ふわっと」なるという合言葉にすることで、今後の実践を価値づけ
	2 教材文を読み、めぐの気持ちを考える。	② どうしたら、みんなが たのしいがっこうに なるかな。	
	(1) うまくおよげないめぐが入学前に考えたことについて	みんなについていけるかな。 泳げないことをばかにされたらどうしよう。 友だちができるか心配だな。	
	(2) みんなに気遣ってもらっている時のめぐの気持ちについて	遠足で、泳ぐのに疲れると、みんなが待ってくれてうれしいな。優しい。運動会はいっしょにできるように工夫してくれたよ。ありがとう。	
	3 めぐが黒板消しをきれいにした理由を考える。	自分にもできそう 友だちが優しくしてくれたので、お返ししたかったから。 みんなが気持ちよく過ごせるから。	
	4 本時の学習を「あいことば」としてまとめる。	③ みんなのために じぶんで できることを がんばる。 (「ふわっと」たすけあい)	
	5 本時を振り返る。	⑤ あいさつが得意だから元気なあいさつを毎日しよう。 掃除で廊下の床をピカピカにしたら、みんな気持ちがいいね。 片付けで困っている子がいたら助けてあげよう。	
	(1) これからの自分の行動についてワークシートに書く。	〇〇さんが応援してくれてうれしい。がんばろう。 〇〇さんの「励ましてあげる」の意見が素敵だと思うよ。 今までもしていたことに気付いてくれていてうれしい。	
	(2) 振り返りを交流する。		
	(3) 「ふわっと」助け合いハートマークを塗る。	自分にできることで助け合うと、心が「ふわっと」して、もっともっと楽しい学校になりそうだよ。頑張っていこう。	

7 めだかのめぐ



なまえ

?

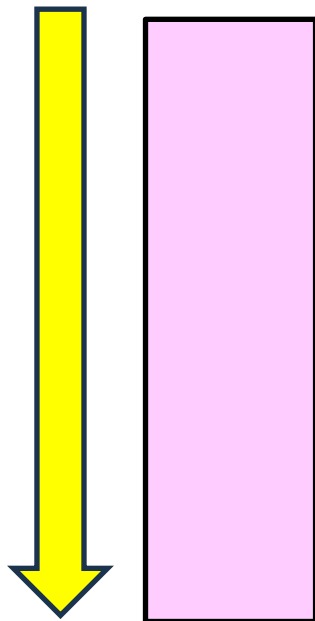
めぐは、どうしてくらすのことが
すきになったのかな。

めぐは どんなきもちで こくばんけしの そうじを したのかな？



○

みんなが たのしい がっこうに するために できることは？



ふ

へんしんの じゅつで かんがえたかな？
 ともだちの おはなしをきいて かんがえたかな？
 がんばりたいことが みつかったかな？

